

< 祈禱会の聖書から >

【クリスマスに十字架?】“楽しいクリスマスに十字架?”という声も聞こえてくるようですが、この方がお生まれになったことを記念し、救いの成就=完成に感謝する時がクリスマスです。厳密に申しますと、正確な日にちにまで及び記録はないのです。“羊飼いたちが夜、野宿をし、羊の番をしていた(ルカ2:8)”とありますから、むしろ冬ではなかったとも思えます。人口調査の記録(ルカ2:1)もありますが、これもなかなか、何度か行われたことは分かりますが、西洋史の記録とは合わないのです。けれども、教会はこの日に主の降誕を記念するようにしました。ペンテコステに始まり、信仰を見つめて過ごした時期が終わり、待降節を過ごした私たちは、降誕を記念する日を迎えるのです。

【七言】十字架の上での主イエスの言葉、それは神との会話であり、犯罪人と呼ばれている人との会話でした。先週は“前に一度やった”ということで、この十字架上の七言に触れませんでした。このように仰る方の誕生を、もう一度思い出すのは価値のあることです。だからこそクリスマスなのでしょう。

【第一】ルカ23:34に“父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです”とあるのがそれです。“赦し”です。私たちには出来ない赦しです。私たちも赦されていることを思い出し、また“赦すのが下手”ということも思い出しましょう。その代わりに、赦さないのは小さなことに至るまで、そのままにしておくのがとても上手です。審判して、あの人は良い・この人は悪い・敵だと思うのがとても上手なのです。

【第二】救いの言葉です“よく言うておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう(ルカ23:43)”とあります。主は罪深い者を救われました。それは信仰によってです。“完全な信仰”といっても良いでしょう。時間の問題でも、功績の問題でもなく、要求の問題でもなく、この人は主への信頼を告白しました。“イエスよ、あなたが御国の權威をもっておいでになる時には、わたしを思い出してください(ルカ23:42)”が示しています。教会もそうなのです。しかし、失いやすい告白の一つかもしれません。“あなたは本当にそう願っているのですか?”と御言葉は語ってくださるのでしょうか。先週の箇所です。

【第三】ヨハネ19:26,27に“婦人よ、御覧なさい。あなたの子です”と言われた。それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの母です」が第三です。ぎすぎすした社会や家庭の中で、他の人への思いの大切さを教えて下さいます。ここ数十年ホスピスという言葉が普通になりましたが、ずっと昔から、修道院は身寄りのない人たちや病気で今召されようとしている旅の人達にも、この言葉に従って接してきた歴史を持っています。最高の執り成しへの支持です。

【第四】マルコ15:34にある“わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになつたのですか”というマタイも取り上げている記録です。誰よりもすごい罪の現実に直面された、御子の“神との断絶の言葉”です。教会もこの言葉の前に沈黙してしまうことがあるでしょう。

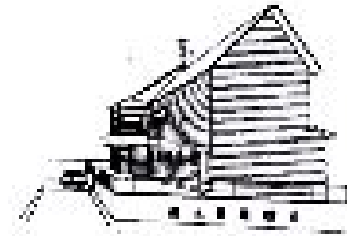
【第五】“わたしは、かわく(ヨハネ19:28)”がそれです。ヘブル書2:18に“御自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練を受けている人たちを助けることができになるのです”とあります。私たちの苦しむ時の力になってくださるのです。私たちは苦難の理解者と克服の道を得ているのです。

【第六と第七】信頼の成就の言葉です。ヨハネ19:30に“成し遂げられた”、ルカ23:46の“父よ、わたしの霊を御手にゆだねます”とあるのが、六と七です。主が持つておられた信仰の告白です。

【教会へ】教会は今もこの記録を大事にして、(死ではなく)復活の望みに生きているのです。現実なのです。聖書の記録者は、一番大切な主の言葉を綴りました。これらの言葉を教会に大事な言葉として残しました。順番もこう考えておかしくはないと思います。この“神の力”の方の記念の日が“クリスマス”です。

週報

2010年 11月 28日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト
清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp

振替口座 00890-6-214042